



株式会社フルキャストホールディングス 2023年12月期第2四半期決算説明資料

2023年8月10日

- 1 FY2023 2Q連結業績(2023年1月～6月)
- 2 FY2023 2Qセグメント業績(2023年1月～6月)
- 3 FY2023 施策の進捗及び継続的な取組み
- 4 FY2023 2Q業績予想進捗
- 5 FY2023 中間配当について

FY2023 2Q 連結業績(2023年1月~6月)

連結 FY2023 2Q業績予想対比

上期を通じて、顧客需要の回復基調が継続し、短期人材ニーズを取り込めたことを主因として、主力事業である短期業務支援事業を中心に、期初に想定した前提条件の範囲内で推移したことにより、連結業績は2023年12月期第2四半期連結累計期間業績予想に概ね沿った実績となりました。

当第2四半期連結会計期間より、2023年6月23日付けで連結子会社としたグロービート(株)等の損益を2か月分取り込んでおります。

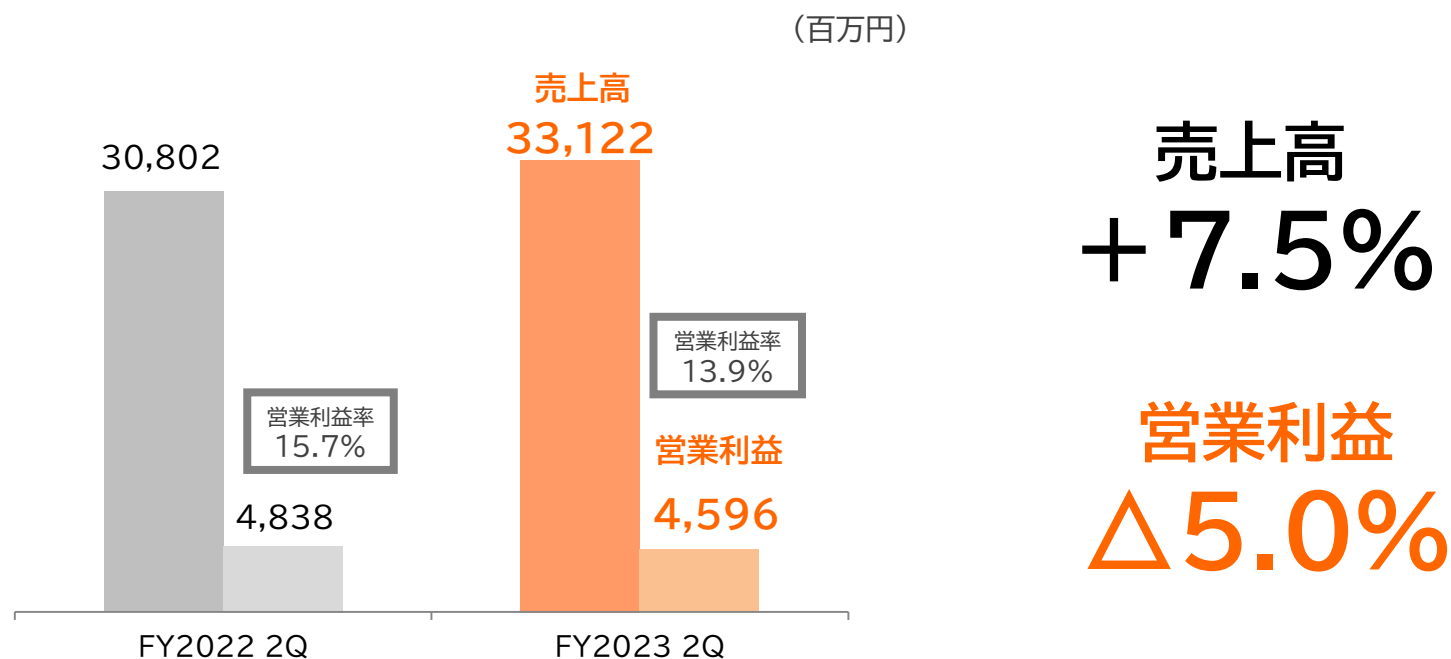
(百万円)

	FY2023 2Q累計実績	FY2023 2Q累計予想	増減額	達成率
売上高	33,122	31,065	2,057	106.6%
売上総利益	10,933	10,622	311	102.9%
営業利益	4,596	4,700	△104	97.8%
経常利益	4,566	4,717	△151	96.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,201	3,176	25	100.8%

連結 FY2023 2Q前年同期比較

コロナ禍リスクの低減化に伴いコロナ関連業務に係る官公庁案件等が減少したものの、上期を通じて、短期人材ニーズを取り込むことで主力サービスである「紹介」及び「BPO」を伸ばせたこと等により短期業務支援事業が増収したことを主因とし、加えて、グロービート(株)等の損益を取り込んだことで、**売上高は前年同期比7.5%の増収**となりました。

増収したことに対し、社会保険の適用拡大に伴い社会保険料の会社負担分が増加したことを主因として、**営業利益は前年同期比5.0%の減益(営業利益率は1.8PTの低下)**となりました。



連結 FY2023 2Q前年同期比較

営業利益同様の要因により、**経常利益は前年同期比6.9%の減益**となりました。

当第2四半期会計期間において、保有する投資有価証券の売却に伴う投資有価証券売却益346百万円を特別利益に計上したこと等により、**親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比3.5%の減益**に留まりました。

(百万円)

	FY2022 2Q	FY2023 2Q	増減額	増減率
売上高	30,802	33,122	2,321	7.5%
売上総利益	10,480	10,933	453	4.3%
販管費	5,642	6,337	695	12.3%
営業利益	4,838	4,596	△242	△5.0%
営業利益率	15.7%	13.9%	—	△1.8PT
経常利益	4,903	4,566	△337	△6.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,319	3,201	△117	△3.5%

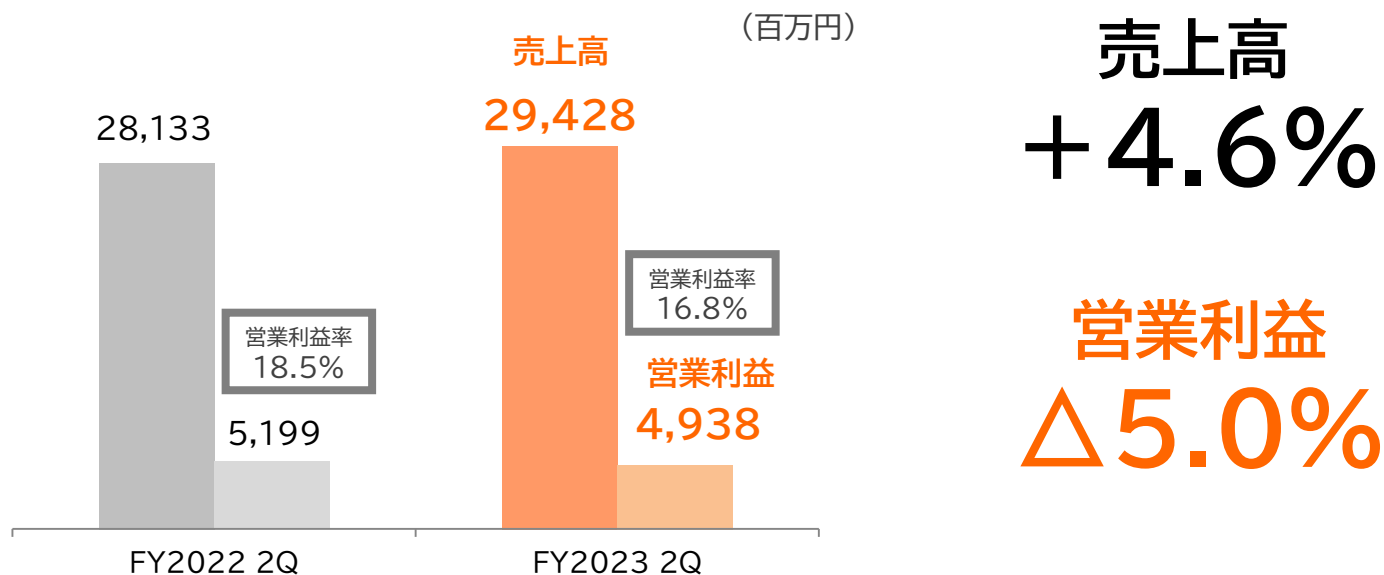
FY2023 2Q セグメント業績(2023年1月～6月)

短期 FY2023 2Q前年同期比較

コロナ関連業務に係る官公庁案件等が減少したものの、主として、短期人材ニーズを取り込むことで主力サービスの「紹介」及び「BPO」を伸ばせたこと等により、**売上高は前年同期比4.6%の増収**となりました。

増収したことに対し、社会保険の適用拡大に伴い社会保険料の会社負担分が増加したことを主因として、**営業利益は前年同期比5.0%の減益(営業利益率は1.7PTの低下)**となりました。

コロナ関連業務の影響を控除したオーガニックの売上総利益は、引き続き、前年同期実績を上回っております。



短期 FY2023 2Q前年同期比較(サービス区分別)

(百万円)

	FY2022 2Q	FY2023 2Q	増減額	増減率
売上高	28,133	29,428	1,295	4.6%
紹介	2,859	3,190	331	11.6%
BPO	4,392	4,612	220	5.0%
派遣	16,868	17,069	201	1.2%
請負	4,014	4,557	543	13.5%
売上総利益	9,729	9,752	24	0.2%
紹介	2,770	3,124	354	12.8%
BPO	2,904	3,157	253	8.7%
派遣	2,627	1,877	△751	△28.6%
請負	1,428	1,595	167	11.7%

[紹介、BPO]

上期を通じて、顧客需要の回復基調が継続し、主力サービスの「紹介」及び「BPO」が増収、且つ、売上総利益増益となりました。

[派遣]

コロナ関連業務に係る官公庁案件の減少に対し、物流業・製造業を中心とした長期人材ニーズを獲得したことで、「派遣」の売上高は前年同期比1.2%の増収となりました。しかしながら、社会保険の適用範囲の拡大に伴い、派遣スタッフに係る社会保険料の会社負担分が増加したことを主因として、「派遣」の売上総利益は前年同期比28.6%の減益となりました。

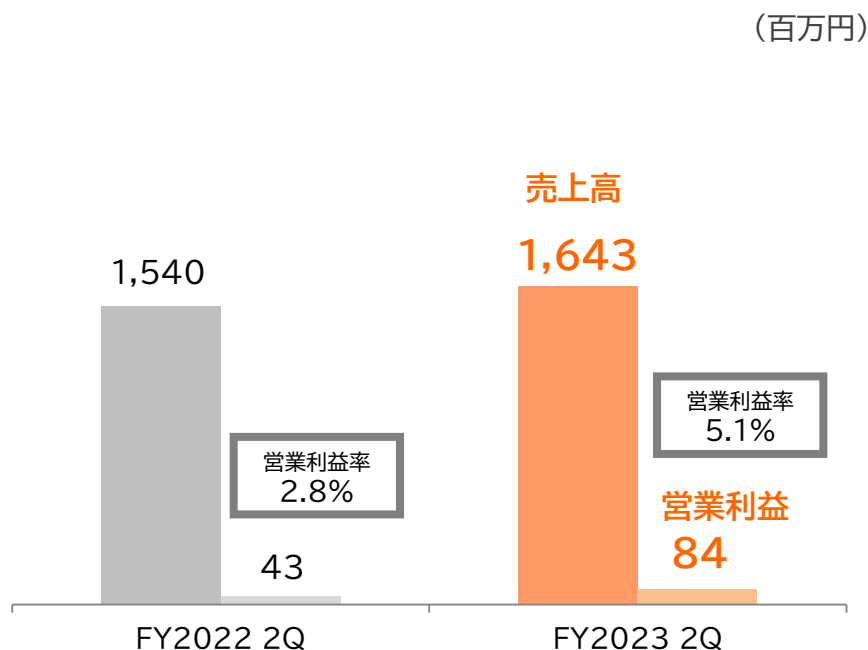
[請負]

コロナ関連業務に係る官公庁案件の減少の影響はあったものの、プロ野球観客動員数が増加し、飲料品販売量が増加したこと、物流請負案件を継続して獲得できたこと等によりオーガニックを伸ばせたことで、「請負」が増収、且つ、売上総利益増益となりました。

営業 FY2023 2Q前年同期比較

主たる事業内容であるインターネット回線販売事業における通信商材の販売動向が昨年を上回り推移したことにより、**売上高は前年同期比6.7%の増収**となりました。

増収したことに加えて、販管費を抑制したことに伴い、**営業利益は前年同期比95.5%の増益**となりました。



売上高
+ 6.7%

営業利益
+ 95.5%

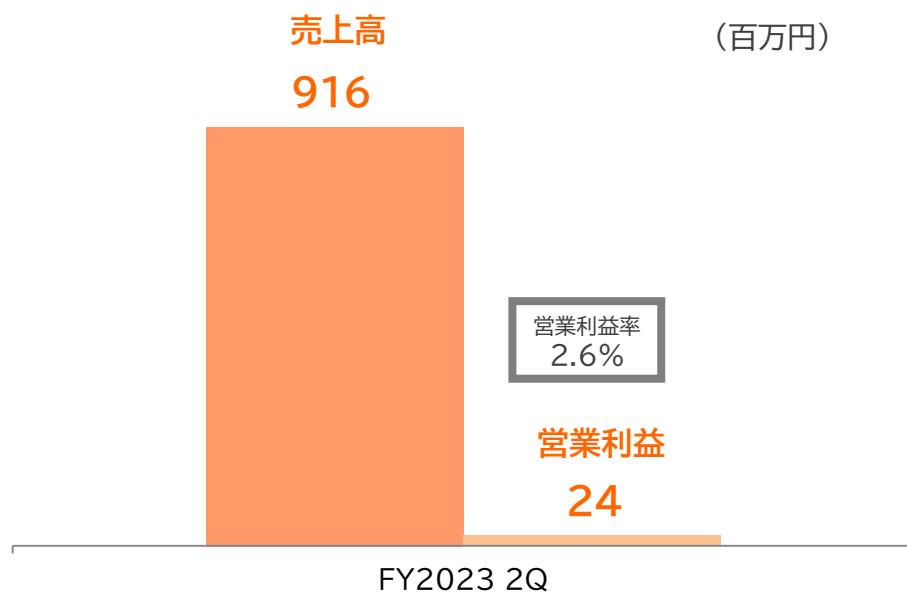
飲食 FY2023 2Q業績

グロービート(株)等の主たる事業内容である飲食チェーン事業に係る売上高を2か月分計上したことで、**売上高は916百万円**となりました。

営業利益は24百万円となりました。

※ 前期実績を開示していないため、2023年12月期第2四半期会計期間実績のみ、記載しております。

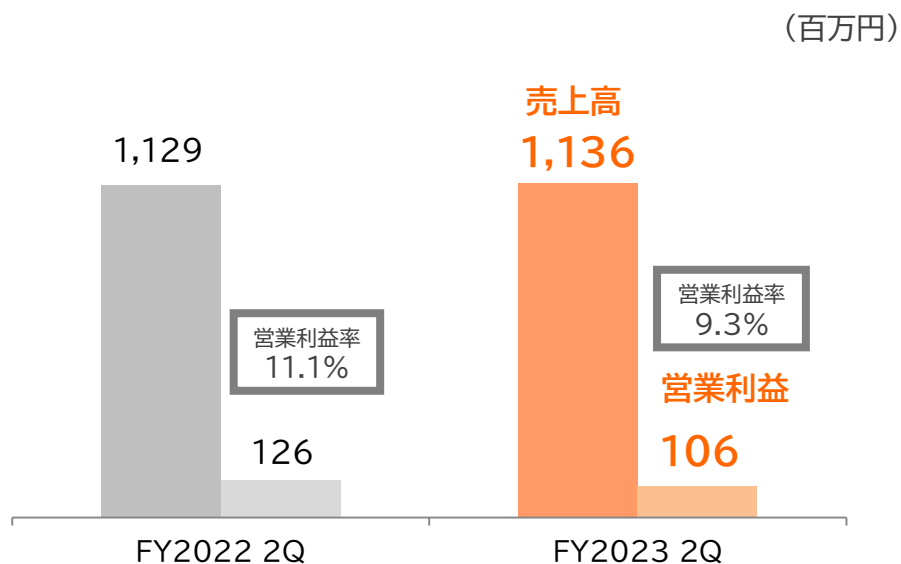
※ グロービート(株)を連結子会社としたことに伴うのれん償却額は、のれんの金額が暫定的な金額のため反映しておりません。



警備・その他 FY2023 2Q前年同期比較

上期を通じて、主として、臨時警備案件の獲得数を伸ばせたことにより、売上高は前年同期比0.7%の増収となりました。

増収したものの、比較的高粗利であるコロナ関連業務が減少していること及び社会保険の適用範囲の拡大に伴い警備スタッフに係る社会保険料の会社負担分が増加したこと等により、営業利益は前年同期比15.9%の減益（営業利益率は1.8PTの低下）となりました。



売上高
+0.7%

営業利益
△15.9%

FY2023 施策の進捗及び継続的な取組み

2023年12月期 目標

事業環境の変化に柔軟に適応できるグループ体制構築と、DXを含めた更なるサービス改善に基づく顧客満足度向上による事業拡大を目指す

DX関連施策

- クライアント向けの登録手続き及び契約書、各種帳票類WEB化
- WEB人材発注システム及びマッチングシステム改善
- 登録スタッフ専用サイト「キャストポータル」及びアプリアップデート
- RPAを活用した業務効率化推進

新規出店の継続(年間10拠点程度)

官公庁営業部門の地域展開化

グループ顧客情報の共有化及び人材の適材配置

専門特化型人材紹介事業の多業種展開

各種BPO及び物流請負事業の継続的な拡大及びスタッフ人材に係るグループ会社間の連携強化

グループシナジーの拡大を目的としたM&Aの継続検討

FY2023 目標及び施策

- ・ 当初計画どおり、上期に営業拠点6拠点の新規出店を実施
- ・ 下期は3拠点の新規出店を予定

	上期出店(2/1出店)	下期出店(9/1出店予定)
(株)フルキャスト	岩手県 一関、長野県 上田、千葉県 流山 岡山県 津山、山口県 下関、宮崎県 都城	長野県 諏訪、広島県 東広島、香川県 丸亀

- ・ クライアント・スタッフ双方の利便性及び満足度の向上に資するDXの活用を推進
 - 登録スタッフ専用サイト「キャストポータル」のアプリ版リリース後、フィードバックを踏まえた改善を実施
 - クライアント向けの登録手続き及び契約書、各種帳票類WEB化に係るフィジビリティ・スタディを実施
下期に全国で導入予定
 - 「WEB勤怠」サービスの顧客導入を促進
 - 「WEB求人発注」サービスを年内リリース予定
 - 自動マッチング機能の更なる活用に向けた改修を実施
- ・ 官公庁営業部門の人員を増員し、エリア別の専属担当者を配置することで、各地域の営業拠点との連携を強化
- ・ 物流請負や官公庁に対する請負(主として、マイナンバー関連や各種給付関連及びふるさと納税関連)等、業種に特化した請負案件の取引を拡大
- ・ 飲食チェーン事業を営むグロービート・ジャパン(株)を孫会社に持つ持株会社であるグロービート(株)を連結子会社化(2023年6月23日)
- ・ 建設業界特化型人材紹介サービスをローンチ

各施策は一過性のものではなく、中長期的な課題であるという認識の元、今期及び来期以降における効果発揮に向けて、継続して準備、検討を進め、実施してまいります。

【参考】グロービート(株)について

2023年6月23日に、グロービート(株) (以下、「グロービート」と言います。)の株式の取得(子会社化)を、当社取締役会にて決議し、同日開示しました。株式取得の概要は、「グロービート株式会社の株式の取得(子会社化)に関するお知らせ」をご覧ください。以下に、補足で説明いたします。

- ・ 買収の経緯
 - 先方から当社に対する直接の申し出に基づく
 - 同族経営からの脱却、上場企業傘下企業としての信用力向上、経営基盤の拡充を企図した申し出により検討開始
- ・ 買収価額
 - 8,000百万円
 - 現預金残高3,500百万円超を有しており、実質買収価額は4,500百万円弱
- ・ 買収時の条件
 - 数億円規模の費用削減
 - 費用削減により、買収時のバリエーションはEBITDA倍率で標準的なレンジに収まるほか、収益の底上げを実現
- ・ 買収判断について
 - 事業体としての基盤、構造、収益力、成長性及び投資効率性を総合的に評価し、投資を判断
 - コロナ禍の影響を受けたものの、コロナ禍以前は、500百万円超のEBITDAを安定的に計上していたほか、進行期においては、コロナ禍前同水準の収益を計上できる見込みであり、競争の厳しい飲食業界においても確かな実力を有していると判断
 - 役員個人ないしは開発部門個人に依存しない開発体制が構築されているほか、現役員陣も買収後も経営陣として残るため、継続的な事業運営は可能であり、今後の成長戦略により、成長可能と判断
- ・ 買収の意義
 - 収益基盤及びEPSの底上げ
 - 当社における、従来からのM&Aの目的である、就業希望者に対する就業機会の提供及び正社員化の機会の提供
 - 以下に記す、グロービート成長戦略を実現することによる追加収益の取り込み
- ・ グロービート成長戦略
 - グロービートは、人手不足に起因して、新規出店を計画通り実現できず、かつ、深夜営業の再開も実現できない状況にあった。この人手不足を当社が解決することによる、国内新規出店の再開及び営業時間の拡充
 - 現状、グロービートは、上海、台湾、タイに海外進出している。海外、特にアジアには、日本のラーメンに対する旺盛な需要が見込まれるため、アジアを軸とした海外出店の加速
 - 中食メニューを開発することによる国内需要及びインバウンドルートの需要獲得
 - グループ登録スタッフに対する各種キャンペーン等のシナジーによるファン層(顧客)の獲得

継続的な取組み

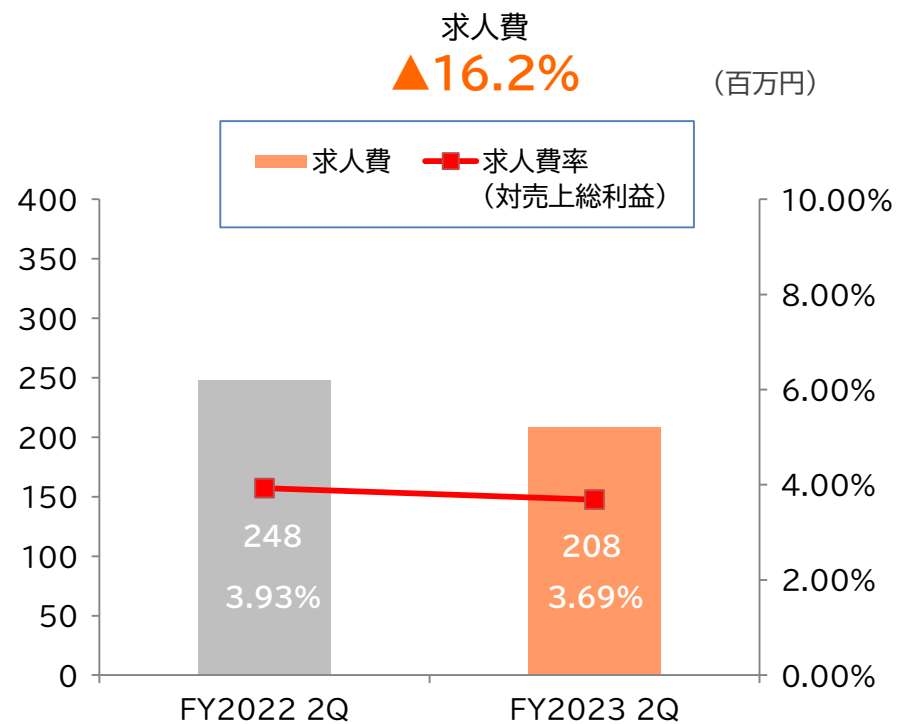
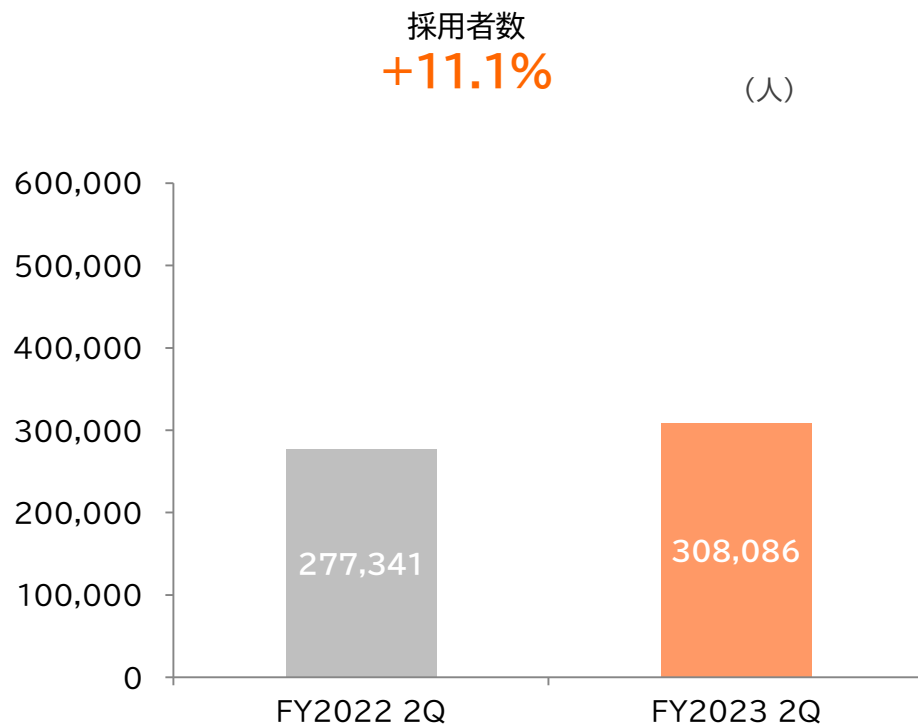
取組① 採用者数・求人費の推移

採用者数

顧客需要の回復動向に合わせた採用活動を行った結果、採用者数は308,086人(前年同期比11.1%増)となりました。

求人費

適切な費用コントロールを行ったことで、求人費は前年同期比で16.2%減少し、求人費率(対売上総利益)が0.24PT低下しました。



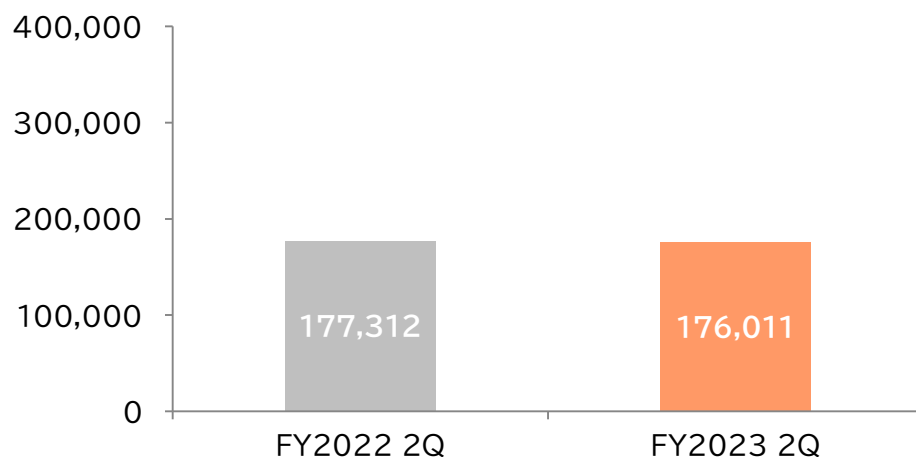
継続的な取組み

取組② 稼働者数の推移

稼働者数

「派遣」及び「請負」における稼働者数の減少を主因として、稼働者数は前年同水準(▲0.7%)となりました。

稼働者数
▲0.7% (人)

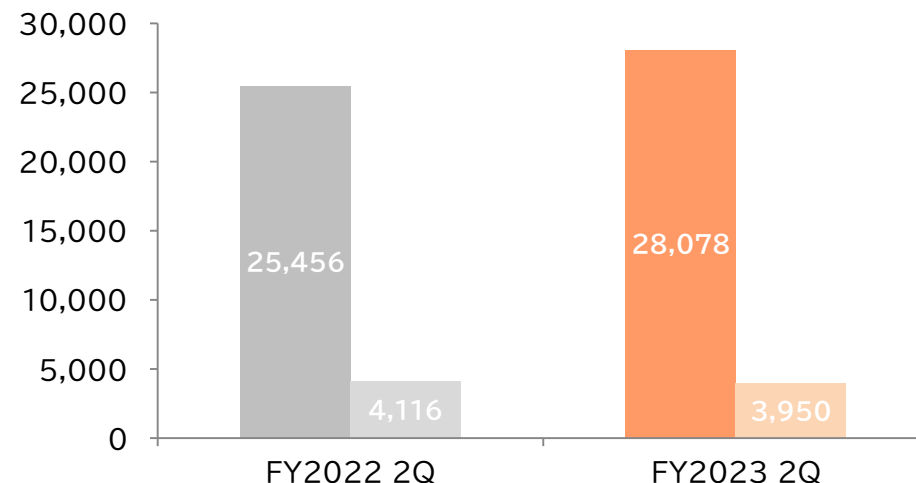


取組③ 取引顧客数の推移

取引顧客数

コロナ関連業務に係る新規の案件獲得数が減少したことを主因として、新規取引顧客数が前年同期比4.0%の減少となったものの、顧客需要の回復基調が継続し、既存顧客から案件を獲得できたことで、取引顧客数は同10.3%の増加となりました。

取引顧客数
+10.3%
新規取引顧客数
▲4.0%



取組④ 人件費1円当たり売上総利益

	FY2022 2Q	FY2023 2Q	増減率
人件費1円当たり売上総利益(円)	3.1	2.9	△6.5%

社会保険の適用枠拡大の影響により売上総利益の額が押し下げられたことを主因として、「人件費1円当たり売上総利益」は前年同期比で6.5%減の2.9円となりました。

なお、グロービート(株)及び(株)ハイフィールドの影響を除外したオーガニックの「人件費1円当たりの売上総利益」は、前年同水準(▲0.7%)の3.1円となっております。

FY2023 2Q業績予想進捗

連結 FY2023 2Q業績予想進捗

主力事業である短期業務支援事業が堅調に推移し、当第2四半期連結累計期間業績は期初に想定した前提条件の範囲内で進捗しております。

当第2四半期連結累計期間業績は、通期業績予想の修正を要しない水準で進捗していることから、通期業績予想の修正は行いません。

(百万円)

		FY2023 2Q 実績	FY2023 通期予想	進捗率
売上高		33,122	66,260	50.0%
売上総利益		10,933	22,310	49.0%
営業利益		4,596	10,000	46.0%
経常利益		4,566	10,000	45.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益		3,201	6,668	48.0%
短期業務支援事業	売上高	29,428	60,891	48.3%
	紹介	3,190	7,342	43.4%
	BPO	4,612	9,902	46.6%
	派遣	17,069	36,284	47.0%
	請負	4,557	7,362	61.9%
営業支援事業	売上高	1,643	2,918	56.3%
飲食事業	売上高	916	—	—
警備・その他事業	売上高	1,136	2,451	46.4%

FY2023 中間配当について

FY2023 剰余金の配当(中間配当)

2023年8月10日開催の取締役会において、配当予想同額となる、1株当たり29円の剰余金の配当(中間配当)を決議いたしました。

引き続き、ROE20%以上を実現するため、総還元性向50%の目標を堅持し、株主に対する利益還元を行う方針ですが、機動的な利益還元を行うために、現時点では配当及び自己株式の取得の両方を選択肢とし、直近の配当予想通り1株あたり30円の期末配当予想としております。

配当内容

	決定額	直近の配当予想 (2023年2月10日公表)	前期実績 (2022年12月期中間配当)
基準日	2023年6月30日	同左	—
1株当たり配当金	29円	29円	23円
配当金の総額	1,033百万円	—	830百万円
効力発生日	2023年9月4日	—	2022年9月5日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

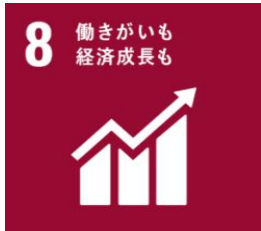
■資本政策の基本的な方針

当社グループは「持続的な企業価値向上」を実現するために、適切な資本効率性及び財務健全性を保持することを基本的な方針とします。

- 「企業価値向上」を支える指標として、適切な資本効率性を保持するため、株主還元の目標を総還元性向50%としております。
- ROE20%以上を「企業価値向上」を示す目標指標としております。
- 「企業価値向上」を実現するため、また適切な財務健全性を確保するためDEレシオ上限1.0倍としております。

(参考)サステナビリティ方針

当社はSDGsの17の目標に対して賛同します。
また、当社の企業理念である、「すべての人をいちばん輝ける場所へ。」を実現していくことで、以下のSDGsの各目標に貢献することを当社の重要課題(マテリアリティ)ととらえております。



8. 働きがいも経済成長も

当社グループは、短期間のマッチング機会を就業希望者、雇用希望企業双方に提供し続けることにより、就業希望者における就業機会及び雇用希望企業における労働力を提供し続けます。
このことにより、就業希望者における働きがいと雇用希望企業における経済成長に貢献してまいります。



5. ジェンダー平等を実現しよう

年齢、性別、属性にとらわれない就業機会を就業希望者に提供することで、ジェンダー平等の実現に貢献してまいります。



10. 人や国の不平等をなくそう

国内全域の、かつ、国籍にとらわれない、就業機会を就業希望者に提供することで、人や国の不平等をなくすことに貢献してまいります。



9. 産業と技術革新の基盤をつくろう

労働力人口が減少していく、国内の労働環境に対して、当社が、短期間のマッチングサービスを、成長ないしは革新を目指す企業に提供し、必要な労働力を充足させることにより、産業の成長と技術革新の基盤づくりに貢献してまいります。

(参考)グループ企業一覧

 (株)フルキャスト
ホールディングス

グループ全体の資源・戦略の最適化ならびにグループ各社の事業運営の指導

 (株)フルキャスト
ビジネスサポート


グループ内各種業務を集約して業務を代行

 (株)フルキャスト

さまざまな事業分野に対する短期人材サービス

 (株)トップスポット

地域密着型ブランド、特定地域に特化した短期人材サービス

 (株)フルキャストアドバンス

施工、営繕、イベントの企画・運営等の業務請負ならびに受付案内業務における人材サービス及び、常駐・雑踏警備および交通警備等の警備業

 (株)ワークアンドスマイル


さまざまな業界・業種で発生する人材ニーズに対し、首都圏を中心に“迅速”で“確実”なサービスを展開

 (株)フルキャスト
シニアワークス

首都圏(一都三県)に特化した、アクティブシニアを対象とした人材サービス

 (株)フルキャストポーター

ドライバーに専門特化した人材サービス

 (株)おてっだいネットワークス

位置情報を活用した短期人材サービス「おてっだいネットワークス」の運営

 (株)フルキャストグローバル

外国人を中心とした人材サービスを展開

 (株)フルキャスト
インターナショナル

即戦力となる特定技能ビザの外国人を紹介する人材紹介サービスを展開

 (株)BOD

データ入力及び受注管理受託・信販審査代行・請求代行及び処理受託・入金管理業務・受発注管理・計上及び経理処理受託を展開

 (株)HRマネジメント


採用代行/研修支援/人事制度構築/リスクマネジメント、監査/会議運営代行

 (株)プログレス

事務全般の代行業/アウトソース事業
生命保険、損害保険の事務業務代行業

 ミニメイド・サービス
(株)

家事代行サービスを展開

 (株)ハイフィールド


不動産業界特化型の人材紹介業

 (株)エフブレイン

 (株)エムズライン

代理店網やコールセンターを活用したIT通信商材の販売代理業務等

 (株)FSP

 グロービート・ジャパン
(株)


飲食チェーン事業

 (株)ビート

業務請負を主とする人材総合アウトソーシングサービス

 (株)デリ・アート

人材アウトソーシング事業

 Advancer Global
Limited

東南アジアを中心とした外国人労働者の人材サービス

免責事項

- Fullcast Holdings IR資料は情報の提供を目的としており、投資等を勧誘するものではありません。最終的な判断はご自身でお願いいたします。また情報の内容につきましては万全を期しておりますが、内容を保証するものではありません。本文、データなどに関する正確性、信頼性、安全性などから起因する直接的、間接的あるいは程度を問わずこれらの情報によって生じた損害につきましては当社は一切の責任を負いません。Fullcast Holdings IR資料の著作権は当社に属し、当社に無断で転用することを禁じます。

注記事項

<当資料について>

- 当資料では、セグメントである短期業務支援事業の表記を「短期」、営業支援事業を「営業」と一部で記載しております。
- 当資料では、2012年10月1日の労働者派遣法改正法の施行に合わせて開始した、短期業務支援事業における「アルバイト紹介」及び㈱ハイフィールドの不動産業界特化型の人材紹介サービスを「紹介」、「アルバイト給与管理代行」、「マイナンバー管理代行」及び「年末調整事務代行」並びに㈱BODグループのバックオフィス系BPOサービスを「BPO」と、各々サービス名を省略して記載しております。また、労働者派遣法改正法の施行後も継続して行っている契約期間が31日以上の「長期派遣」サービスを「派遣」と記載しております。
- 当資料における採用者数、稼働者数、求人費、求人費率は、短期業務支援事業における就業希望者の採用に関連する領域に範囲を限定し、集計しております。加えて、求人費は、就業希望者の採用に関連する費用に限定し、集計しております。
- 「人件費1円当たり売上総利益」は、小数点以下第2位を四捨五入し表記しております。

<短期業務支援事業について>

- 「BPO」サービスは「アルバイト給与管理代行」、「マイナンバー管理代行」及び「年末調整事務代行」並びに㈱BODグループのバックオフィス系BPOサービスを合算しております。
- 短期業務支援事業セグメントにおけるサービス区分別の数値は参考数値であり、監査法人の監査を受けておりません。

<営業支援事業について>

- 営業支援事業は、主として「コールセンター事業」、「WEB事業」、「アライアンス事業」及び「エンターテイメント事業」を行っております。
- 「コールセンター事業」及び「WEB事業」並びに「アライアンス事業」は、いずれもインターネット回線の販売業務を行っております。

<飲食事業について>

- 当第2四半期連結会計期間においてグロービート㈱の株式を取得し、同社及び同社の子会社であるグロービート・ホールディングス㈱並びに同社の孫会社であるグロービート・ジャパン㈱を新たに連結の範囲に含めたことに伴い、「飲食事業」セグメントを新設しております。なお、比較対象となる前年実績がないことから、前年同期比較は行わず、実績のみを開示しております。

すべての人をいちばん輝ける場所へ。

【お問い合わせ先】

IR課 : 03 - 4530 - 4830

URL : <https://www.fullcastholdings.co.jp/corporate/ir/>

Email : IR@fullcast.co.jp